

「95周年に際して」

本校は今年で創立95周年を迎えました。これまでに約30,000名もの卒業生を輩出し、その方々は国内外で活躍しています。17日には本校の卒業生である七條孝司氏による記念講演が行われました。この講演を聴いて、皆さんの中には将来、海外で働いてみたいと考えた人もいないのでしょうか。

さて、今回は、金沢高校の歴史について触れていきたいと思えます。本校は昭和3年に金沢中学校として創立されました。当初は、尾山町にあった藤花高等女学校（現 金沢龍谷高校）を間借りしていたそうです。いつしか教員も生徒も「自分たちの校舎を持ちたい」と考えるようになり、教員と生徒が力を合わせてグラウンドを整備し、現在の泉本町に木造二階建ての新校舎が完成しました。先人たちの思いに心を馳せることで、金沢高校の一員であると感じてもらえたらと思えます。

先日、体育祭での大いなる盛り上がりを目の当たりにし、生徒の皆さんの若いパワーを感じることができました。この力を学業・スポーツなど各方面に発揮することは、金沢高校の発展に繋がるはずで。生徒の皆さんだけでなく、我々教員も、お互いが切磋琢磨し、共に育つことによって、よりよい金沢高校を作り上げていくことができます。共に頑張っていきましょう。

(主幹教諭 中榮 康博)

【全国大会の主な結果】

・国民体育大会

○水泳部

少年男子A50m自由形 2位 東方琉河(3-5)=騎

少年男子A400mドレラー 6位 石川選抜チーム

※選抜メンバー(4名)の中の本校選手

砂田昇哩(3-6)、高井直人(2-4)、東方琉河

・JOCジュニアオリンピックカップU18・U16大会

○陸上競技部

U16棒高跳 2位 森田侑誠 (1-2)=騎

U18棒高跳 3位 山本時来光(2-3)=騎



【文化祭を終えて】

今年の文化祭はコロナやインフルエンザなどの他校の感染状況を鑑み、対策をしながら実施する形となりました。私は生徒会長として準備から片付けまでを見ていましたが、準備の際には「文化祭が盛り上がるのか？」と不安な気持ちもありました。しかし本番が始まると、全校の皆さんが笑顔でステージを観覧し、企画に参加する姿を見て、不安な気持ちは消えました。文化祭の運営に関わってくれたすべての人にお礼を言いたいです。ありがとうございました。(前期生徒会会長 渡會 葵)



【体育祭で青団優勝】

体育祭が9月29日、いしかわ総合スポーツセンターで行われました。3学年が一堂に会し、8の字跳びや大綱引き、追いかけて玉入れ、騎馬戦などの9種目で競い合いました。

初めて企画された部活動対抗リレーでは、ユニフォーム等に身を包んだ生徒たちの疾走に歓声が上がりました。結果は青団が優勝を飾りました。



【95周年を祝う会で講演会開催】

「金沢高等学校創立95周年を祝う会」に合わせ、記念講演会が行われました。

第一部では「校歌がつなぐ想いのバトン」と題して織田教諭と江口教諭による本校創立の歴史や校歌の歌詞の意味の説明後、全員で校歌を斉唱しました。

第二部では本校の卒業生で、認定NPO法人ロシナントス・スーダン駐在員の七條孝司さんが、「私たちはどう生きるか〜たとえばアフリカの人々とともに〜」と題して講演し、アフリカで給水所の整備などに携わった貴重な体験を語っていただきました。

七條さんは「世界には自分が活動できる場所が必ずある」と力強く語り、生徒たちにとっては今後の進路を考える上で、有意義な機会となりました。

